

## 未来教育 5

# 【プロジェクト手法による『教員研修プログラム』の展開】

文部科学省採択事業「確かな学力の育成に係る実践的調査研究」

『課題解決能力の獲得を可能とするプロジェクト学習とポートフォリオ  
教員研修プログラムの開発～コーチング指導による「コンピテンシー育成」  
を目指して～』

報告書（H22）より

シンクタンク未来教育ビジョン

## 言語活動を重視した教員研修プログラム…〈全体の流れ〉

各教科等における言語活動を重視した課題解決能力の獲得を可能とするプロジェクト学習とポートフォリオ  
 --- コーチング指導による「コンピテンシー育成」を目指して ---

講義 1	9:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ <b>きょうの研修全体の「目的・目標」を確認</b></li> <li>□ PISA 読解力・新学習指導要領と教科書の説明</li> <li>□ プロジェクト学習とポートフォリオの包括的概念</li> <li>□ プロジェクト学習の基本フェーズ</li> <li style="padding-left: 20px;">* プロジェクト学習の理念と手法</li> <li style="padding-left: 20px;">* PISA 読解力・言語活動の充実ポイント</li> <li style="padding-left: 20px;">* 思考力・表現力・行動力を高める教育</li> </ul>	  <p style="text-align: center;">新学習指導要領と教科書</p>
ワークショップ (WS1)	10:30  11:00  (昼食)  14:00  (休憩)	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ <b>このワークショップの「題材」「目的・目標」共有</b></li> <li style="padding-left: 20px;">* PISA読解力: 目標設定力</li> <li>□ 意志あるチームづくり</li> <li style="padding-left: 20px;">* 言語活動: 自分の考え・要約的表現</li> <li>□ チームテーマ(目標設定へのコーチング)</li> <li style="padding-left: 20px;">* 言語活動: 目的・目標・改善・提案、要約</li> <li>□ チームで課題発見・課題解決</li> <li style="padding-left: 20px;">* 思考活動: 帰納的・演繹的</li> <li style="padding-left: 20px;">* PISA 読解力: 自らの目標を達成、行動</li> <li style="padding-left: 40px;">① 目標を決定する …コーチング</li> <li style="padding-left: 40px;">② 現状から課題を見出す…コーチング</li> <li style="padding-left: 40px;">③ 課題解決策を考え出す…コーチング</li> <li>□ プレゼンテーションの制作(知の再構築)</li> <li style="padding-left: 20px;">* 言語活動: 図、グラフ、表(非連続型テキスト)</li> <li style="padding-left: 40px;">④ 客観的視点を促す …コーチング</li> <li style="padding-left: 40px;">⑤ 具体的な行動化の表現…コーチング</li> <li>□ プレゼンテーション(相互評価)</li> <li style="padding-left: 20px;">* 言語活動: 結論と理由・論拠・証拠/簡潔</li> <li>□ プレゼンテーションの内容を改善</li> <li style="padding-left: 20px;">* 思考活動: 評価を活かし試行錯誤し改善</li> </ul>	
講義 2	15:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ コンピテンシー育成に有効なコーチング手法</li> <li style="padding-left: 20px;">* PISA型学力: 論理的思考の教育方法</li> <li style="padding-left: 20px;">クリティカルシンキング</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>全体をフィードバック</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 目標は達成できたか</li> <li>◆ 今日、得たもの確認</li> <li>◆ 明日から活かす方法</li> <li style="text-align: center;">↓</li> <li>◆ 教師各自が知の創造</li> <li>◆ 知の触発と知の共有</li> <li>◆ たがいに賞賛と感謝</li> </ul>
(WS2)	15:45	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 「個人」で、教科などへの活かし方を考える</li> <li style="padding-left: 20px;">* 言語活動: 比喩・例示・類推</li> <li>□ 「全体」で、思考共有…個人知から全体知へ</li> </ul>	
	16:20 16:30	アンケート・評価 終了	

# 言語活動を重視した教員研修プログラム…＜詳細な展開＞

講義 1

PISA型学力・プロジェクト学習の基本

9:30 開始

● 獲得できる知: [読解力の定義][概念の理解]



## ■ 研修ビジョンの共有

- 講師はポートフォリオを活かし元気に自己紹介する
- 参加者と「意志ある学び+楽しい研修」という研修のビジョンを共有する
- タイムスケジュールを参加者へ説明する
- 今日の研修のねらいをつたえる  
「新学習指導要領に有効なプロジェクト学習や対話コーチングの考え方と手法がつかめる！」



## ■ 講演「新学習指導要領や言語活動の充実について」

- 新学習指導要領、PISA型学力、コンピテンシー（活用力・課題解決力・言語活動の充実）を新年度からの教科書を開き対応させながら説明する。

← 会場に、「新学習指導要領」と各社の新年度「教科書」（光村、教育出版、東京書籍などの国語の教科書ほか）

## ■ 講演「PISA型学力に有効なプロジェクト学習」

### 読解力の定義

「自らの目標を達成し、自らの知識と可能性を発達させ、効果的に社会に参加するために、書かれたテキストを理解し、利用し、熟考し、これに取り組む能力」

OECD 生徒の学習到達度調査。  
2009年調査国際結果の要約より

- 講師は、プロジェクト学習用シート集とその解説書とポートフォリオ用ファイルの使い方を説明する。

## ● 獲得できる知: 「思考プロセス」を可視化する方法

← 参加者は、そのシートに実際に書き込みながらプロジェクト学習やコーチングなどを理解していく。



- 意志ある学びー未来教育プロジェクト学習とは  
…シート集、シート②へ記入
- プロジェクト学習の基本フェーズ、身につける力  
…シート集、シート③へ記入
- 課題発見力を引き出す手法とコーチング  
…シート集、シート④へ記入
- プロジェクト学習とポートフォリオの関係

実物のプロジェクト学習の成果であるポートフォリオを示し、今日の研修でもこのようなものを生み出すことを伝える。手にとることができるよう展示しておく。



10:30

● 獲得できる知: [俯瞰を叶える視座のもち方] [意志あるチーム]づくりの方法



■ 未来教育ワークショップの展開を説明

- プロジェクト学習のフェーズで展開することを伝える。
- 事前に参加者から集めた情報をもとにワークショップの「題材」と「目的と目標」を決定する

\*\* 以後、主に千葉会場における教員研修の実践による

<プロジェクト研修の目的と目標>

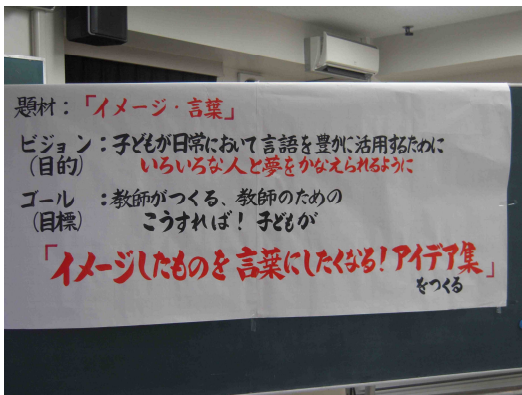
題材『言葉』

目的『子どもが言語を豊かに使えるために』

目標『子どもがイメージしたものを、言葉にしたくなる! アイデア集をつくる』

↑  
子どもが「イメージ」したものを言語化したくなる工夫を  
教師たちがプロジェクトチームで考えだすことを狙った。

- ポイント: 必然性のある『題材』にすること  
ここでは教師にとって必然性ある「言葉」を題材とした、「健康」「リスク」などもOK
- ポイント: ビジョン (目的)、ゴール (目標) は大きな紙にかき壁に掲示していつでも目に入るようにする。



■ チームビルディング: 意志あるチームづくり

- 参加者は、自ら関心のある課題をシートに書く。  
自分の関心をシート集の⑦を使う。

- 獲得できる知: [課題への意識化・課題発見力]
- 獲得できる知: [個人の意志を活かしたチーム]

- 一人ひとりの課題意識にもとづき、チームを作る。

- 壁等にカテゴリーを書いた紙を3メートル間隔に貼る。各自自分の関心のある所に集まり同じ課題意識のある人でチームをつくる。

- 言語活動を意識したチームづくりのカテゴリー例

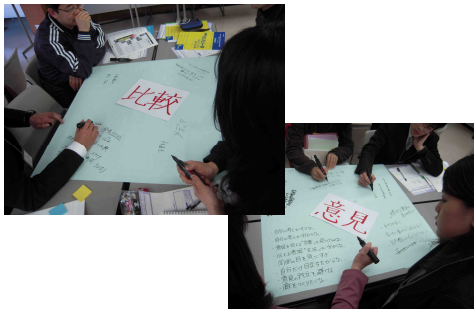
比較	改善	意見	経験	作品
よさ	文化	変化	将来	

- 獲得できる知: [題材への概念、理解]
- 言語活動の高まり: [分類・関連付け・関係付け]



11:00

● 獲得できる知：「明確な目標」へのコーチング手法



■ チームテーマ（目標）づくり

● 言語活動の高まり：[帰納的][演繹的]思考力

□ チームテーマを決めるために チームごとにブレインストーミング。一人ひとりがどんどん意見を出す。その後、このワークショップの大目標「イメージしたものを、言葉にしたくなるアイデア集」と照らし合わせて一番、あったら助かるものに決定する

□ ポイント：模造紙の中央にラフにキーワードを置き、話し合いがぶれないようにそれを見ながら現状の課題を話し合いチームテーマを決めていく。

□ ポイント：チームテーマは「〇〇の方法を提案します」と他者に行動や方法を提案する。

- 獲得できる知：概念の理解に近づける
- 獲得できる知：思考プロセスの可視化（ブレインストーミング）

■ チームテーマ（目標）の共有

□ チーム目標を明確にするために講師がコーチングする  
「今はどうなの？」  
「ほかには？」  
「具体的には？」

講師のコーチングセリフや意図を教師たちは、メモしながら平行してチームのメンバーとして思考活動を遂行する。

各チームが決定したチーム目標を他の人たちへ伝える「明確な目標」になるよう講師がコーチングするそのコツをつかんだら、互いにコーチングしあってシャープな目標表現としていく。

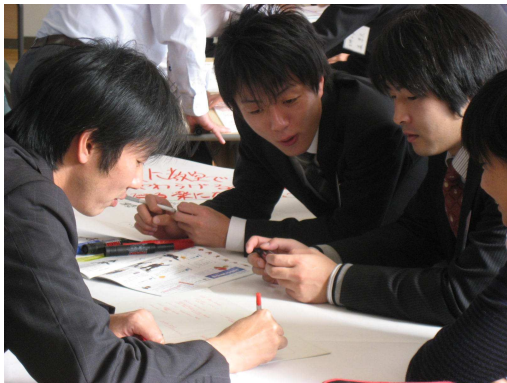
● 言語活動の高まり：[平易・簡潔]な表現力

子どもたちの言語活動を高めるための<チームテーマ例>

- 作品（絵）を比較して特徴を**的確に根拠を添えて言葉**にしたくなる方法を提案します！
- 学級での話し合いで、受け身の子も思わず**自分の考えを表現**したくなる方法の提案
- 子どもたちがラジオコマーシャルで地域の**良さを伝えたく**なるような方法を提案します！
- 卒業式のときに将来何になっていたか**を本音で話したく**なる方法を提案します！
- 1枚の写真から**たくさんの言葉で表現**したくなるアイデアを提案します
- 中3の卒業を前に“私が**変化した瞬間**を“**言葉にして伝えたく**なるような方法を提案します！
- 受験の面接で、**困難を乗り越えた経験**を**簡潔に言葉**にしたくなる方法を提案します

11:30

■ 一人思考から思考共有、知的創造へ



- 言語活動の高まり：結論と理由、根拠、証拠
- 言語活動の高まり：[帰納的][演繹的]思考力

□ テーマが決定したら互いの考えを出し合い、根拠ある情報をもとに課題解決策を生むだしプレゼンテーションの制作物を作り上げる。

＜再構築の3条件＞

- 1, 自分たちの考えであること
- 2, 根拠ある情報と概念図等を含むこと
- 3, 現実に、こうすればできるという「具体的な提案」であること



■ プレゼンテーションの内容を制作する

- 言語活動の高まり：非連続テキスト  
(文章、図、グラフ、表)
- 言語活動の高まり：[帰納的][演繹的]表現力

□ 制作条件  
模造紙2枚サイズへ「提案テーマ・現状・課題、課題解決策・具体的な提案」をレイアウトします。

□ 提案内容は、現状をしめす「データ」「グラフ」など「根拠ある情報」を入れる。具体的な提案には、「図やイラスト」「手順を示す矢印」「ポイント」などを含める

14:00

■ チームごとにプレゼンテーション (3分)

ノンバーバルコミュニケーション (非言語的)

- 言語活動の高まり：[簡潔・平易・例示] 表現力
- 言語活動の高まり：[類推・隠喩・比喩] 表現力

□ 講師はプレゼンテーションの意図や考え方を伝えながらプレゼンテーションの仕方の説明もする

□ ロールプレイで先生役、子ども役を演じつつ、楽しくも具体的に役立つ提案をプレゼンテーション。



■ 互いの成長をかき立てる評価・賞賛

- 言語活動の高まり：意欲が湧く愛ある表現力

□ もっとよくしたくなる具体的な評価やアドバイス

■ 評価を活かしプレゼン模造紙の内容改善する

- 言語活動の高まり：具体的で簡潔な表現力

□ 模造紙にピンク付箋 (ここがよかった)、ブルー付箋 (こうしたらもっとよくなる) を互いに貼る。それを活かし、模造紙の内容をさらによくする





15:00

● 獲得できる知: 意志ある学びを叶えるプロジェクト学習とコーチング



ワークショップ

(WS 2)

研修で得た「知識や手法」の活用を参加者たちが共有する

15:45

● 獲得できる知: [思考の可視化] [知の IN と OUT の自覚] [個人知から集合知]への手法



←① ②↓



↑③ ④→



■ 研修で得たことを各教科等に活かす方法を考えだし参加者全員で共有する

- ① 一人ひとりがアクションシートに今日の研修で得たこととそれを教科などで子どもの活用力を高めるためアイデアを考え書き表す。
- ② 4名程度で記入したアクションシートを互いに見合い「これやってみよう、」や「ユニーク、使えるね!」などの視点で推薦しあい1枚決める。
- ③ 講師は、にこやかにそのアクションシートとともにその参加者の記入した内容を所がカメラでスクリーンに映し出し皆さんへ紹介する。自己紹介を促しその内容をみなさんへ話してもらう。
- ④ メモとりながらニコニコ仲間のアイデアを聞く参加者、惜しみない拍手! 講師は感謝を伝える。

感謝・実行へのビジョン

16:15 □ 最後に全体を通して写真をスライドで流す。

16:20 □ アンケート記入  
□ 成長への感想

16:30 終了

■ ワークショップ(WS1)の凝縮ポートフォリオを作成する

プレゼン時の模造紙を写真に撮り、プリントアウトした用紙を綴じ提案集とします。それが研修の成果(知財)となる。

